

聖公會直轄を離れ 學院法人制成る

日本聖公會監督會議で承認され 正式届出は九月か

【本報東京二十日電】日本聖公會監督會議は、二十日午後、東京市本郷区本郷三丁目にある日本聖公会監督會議会館で、聖公會直轄の東京聖公会學院を離れ、學院法人制とする事案を承認した。この決議は、聖公會直轄の東京聖公会學院が、正式に學院法人として組織されることを意味する。この決議は、聖公會直轄の東京聖公会學院が、正式に學院法人として組織されることを意味する。この決議は、聖公會直轄の東京聖公会學院が、正式に學院法人として組織されることを意味する。

行政機關は 學院理事會

注目される理事會の 定款作成の悩み

【本報東京二十日電】東京聖公会學院の行政機關として、學院理事會の組織が注目されている。この理事會の定款作成には、多くの悩みがある。理事會の定款作成には、多くの悩みがある。理事會の定款作成には、多くの悩みがある。理事會の定款作成には、多くの悩みがある。

組織變更には 適當な時期

杉浦學長語る

【本報東京二十日電】東京聖公会學院の組織變更には、適當な時期がある。杉浦學長は、組織變更には、適當な時期がある。杉浦學長は、組織變更には、適當な時期がある。杉浦學長は、組織變更には、適當な時期がある。

マキム監督に 定款を提示

承認を得れば 直に法人組織へ

【本報東京二十日電】東京聖公会學院の監督マキムに、定款が提示された。承認を得れば、直に法人組織へ進む。承認を得れば、直に法人組織へ進む。承認を得れば、直に法人組織へ進む。

無類の感情家獨歩 高潔の士久保田君

植村正之 岩本善治 田村 江東

【本報東京二十日電】高潔の士久保田君は、無類の感情家である。植村正之、岩本善治、田村、江東。高潔の士久保田君は、無類の感情家である。植村正之、岩本善治、田村、江東。



歸院を急ぐ ト博士

懇望

【本報東京二十日電】ト博士は、歸院を急ぐことを懇望している。ト博士は、歸院を急ぐことを懇望している。ト博士は、歸院を急ぐことを懇望している。

第一期計畫の 拾萬圓達成近し

近々根岸理事満席へ

【本報東京二十日電】第一期計畫の拾萬圓達成近し。近々根岸理事満席へ。第一期計畫の拾萬圓達成近し。近々根岸理事満席へ。

米國行 監督會議出

席のたぬ

【本報東京二十日電】監督會議は、米國行に出発した。席のたぬ。監督會議は、米國行に出発した。席のたぬ。

茂木英三郎君 七日出發す

米國アマスト大學へ

【本報東京二十日電】茂木英三郎君は、七日に米國アマスト大學へ出發する。茂木英三郎君は、七日に米國アマスト大學へ出發する。茂木英三郎君は、七日に米國アマスト大學へ出發する。

全日本 新聞聯盟

樹立禁止さる

【本報東京二十日電】全日本新聞聯盟の樹立禁止さる。全日本新聞聯盟の樹立禁止さる。全日本新聞聯盟の樹立禁止さる。

後援會 事會開催

後援會 事會開催

【本報東京二十日電】後援會事會が開催された。後援會事會が開催された。後援會事會が開催された。

米田博士 後任には松

下正壽氏

【本報東京二十日電】米田博士の後任には松下正壽氏が就任する。米田博士の後任には松下正壽氏が就任する。米田博士の後任には松下正壽氏が就任する。

大學の 昨今

暴壓

【本報東京二十日電】大學の昨今、暴壓が繰り返されている。大學の昨今、暴壓が繰り返されている。大學の昨今、暴壓が繰り返されている。

校支 消息

校支 消息

【本報東京二十日電】校支消息。校支消息。校支消息。校支消息。

時間 空間

時間 空間

【本報東京二十日電】時間空間。時間空間。時間空間。時間空間。

米田博士 後任には松

下正壽氏

【本報東京二十日電】米田博士の後任には松下正壽氏が就任する。米田博士の後任には松下正壽氏が就任する。米田博士の後任には松下正壽氏が就任する。

大學の 昨今

暴壓

【本報東京二十日電】大學の昨今、暴壓が繰り返されている。大學の昨今、暴壓が繰り返されている。大學の昨今、暴壓が繰り返されている。

近頃

どうして斯う
仕事でグン々々
進捗して行くの
らうと聞くと見
たら
ライトを使つて居
る結果と判明!

ライトインキ

近年稀なる暑氣御機嫌
如何被爲在候や同上候

何時も御配慮を辱ふし居候立教大學は、御益々健全の發達を致居候段御禮申上候。學内の空氣は誠に良好にて、學生數も千二百に候へ、思想悪化の恐れ殆ど無之、學業の方面にも本學の少數授業主義を徹底的に實施し、又人格陶冶の上には、今春より特に専任のチヤペレンを任命して大學教育の理想實現に努力在候。綜合大學全體として、昨年来校友諸氏の一方ならざる御盡力により、近々一新機を相聞申上べしと存候。かくて立教は益々其特色を以て國家と社會に貢獻致したき志望に有之候。既設の文商兩學部も近年豫科の改善と共に、其内容も充實致し高等教員無試験檢定を受ける者續々有候。此れは御禮申上候。先は暑中御見舞々大學の近狀御報告申上度如此に御座候。昭和四年盛夏 學長 杉浦貞二郎 敬具

神の恵み

暑中愛見姉の上に豊かならん事を祈る

遠き國より來る好き消息は、渴きたる人における冷かなる水の如し

ア一メン

立教大學 立教學院校友會

東京市芝區櫻木本郷町 内
鳥居 立教大學

岩井理三郎

四國遊説に際し御見送の諸兄

並に神戸在住先輩、徳島高商講演部、松山高商講演部、海新新聞社、東洋日報社、四國民報社、徳島毎日新聞社の絶大なる御聲援を感謝而暑中諸兄の御健康を祈る

立教大學弁論部

毎年度行
を主催する
日シヤの部
店靴ヤノシヨ
前座松原

神の恵み

暑中愛見姉の上に豊かならん事を祈る

遠き國より來る好き消息は、渴きたる人における冷かなる水の如し

ア一メン

立教大學 立教學院校友會

東京市芝區櫻木本郷町 内
鳥居 立教大學

岩井理三郎

炎熱の都を離れて 海、山に涼風を追ふ 學友會各部の夏

見事踏破した 早月尾根の難行 十四班に分つて 山岳部の活躍

我々の夏は、とて、早月尾根を踏破し、海、山に涼風を追ふ。炎熱の都を離れて、海、山に涼風を追ふ。學友會各部の夏。見事踏破した。早月尾根の難行。十四班に分つて。山岳部の活躍。

第一班は、早月尾根を踏破した。十四班に分つて。山岳部の活躍。

第二班は、早月尾根を踏破した。十四班に分つて。山岳部の活躍。

第三班は、早月尾根を踏破した。十四班に分つて。山岳部の活躍。

第四班は、早月尾根を踏破した。十四班に分つて。山岳部の活躍。

第五班は、早月尾根を踏破した。十四班に分つて。山岳部の活躍。

第六班は、早月尾根を踏破した。十四班に分つて。山岳部の活躍。

第七班は、早月尾根を踏破した。十四班に分つて。山岳部の活躍。

第八班は、早月尾根を踏破した。十四班に分つて。山岳部の活躍。

第九班は、早月尾根を踏破した。十四班に分つて。山岳部の活躍。

第十班は、早月尾根を踏破した。十四班に分つて。山岳部の活躍。

第十一班は、早月尾根を踏破した。十四班に分つて。山岳部の活躍。

第十二班は、早月尾根を踏破した。十四班に分つて。山岳部の活躍。

第十三班は、早月尾根を踏破した。十四班に分つて。山岳部の活躍。

第十四班は、早月尾根を踏破した。十四班に分つて。山岳部の活躍。

弁論部一行 四國へ遊説 各地で歓迎攻め

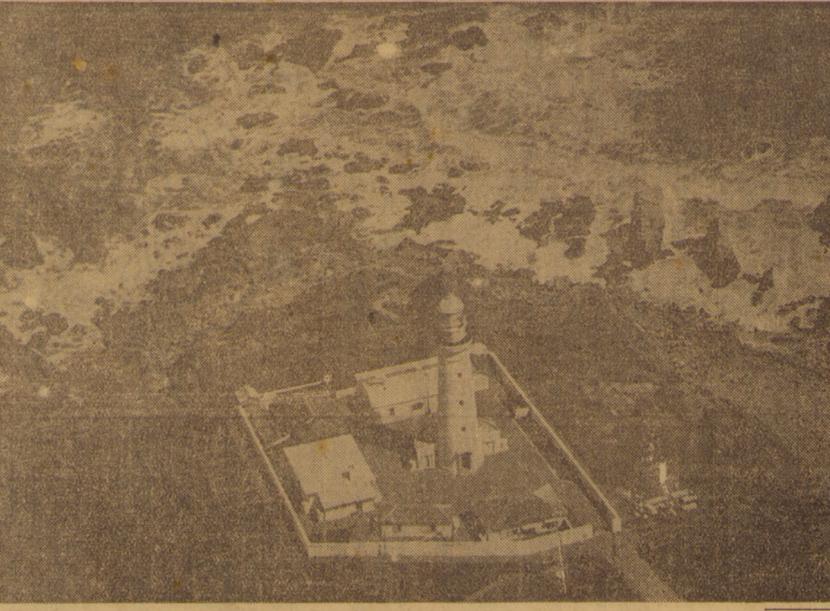
弁論部一行、四國へ遊説。各地で歓迎攻め。第一班、第二班、第三班、第四班。各地で歓迎攻め。

第一班は、早月尾根を踏破した。十四班に分つて。山岳部の活躍。

第二班は、早月尾根を踏破した。十四班に分つて。山岳部の活躍。

第三班は、早月尾根を踏破した。十四班に分つて。山岳部の活躍。

第四班は、早月尾根を踏破した。十四班に分つて。山岳部の活躍。



心中實驗
君ヶ濱ならぬ君ヶ鼻
學會大伏合宿記

君ヶ濱ならぬ君ヶ鼻。學會大伏合宿記。

君ヶ濱ならぬ君ヶ鼻。學會大伏合宿記。

水泳部の活躍
目覺しい
特に目を引く新進中村

水泳部の活躍。目覺しい。特に目を引く新進中村。

水泳部の活躍。目覺しい。特に目を引く新進中村。

文学部にも 幹旋せよ
先づ英三から

文学部にも。幹旋せよ。先づ英三から。

文学部にも。幹旋せよ。先づ英三から。

野球部合宿落成す
去月大原町 一週間に 合宿終る

野球部合宿落成す。去月大原町。一週間に。合宿終る。

野球部合宿落成す。去月大原町。一週間に。合宿終る。

青年會の 天幕生活
避暑の地を 静かに楽しむ

青年會の。天幕生活。避暑の地を。静かに楽しむ。

青年會の。天幕生活。避暑の地を。静かに楽しむ。

根岸教授の 熱辯
討論を通じて 熱い議論を展開

根岸教授の。熱辯。討論を通じて。熱い議論を展開。

根岸教授の。熱辯。討論を通じて。熱い議論を展開。

由自 槍
自由を 尊ぶべき

由自。槍。自由を。尊ぶべき。

由自。槍。自由を。尊ぶべき。

立教學院 寄附金申込芳名 (第五回報告) (申込順)

新井	渡夫殿	金壹百圓也	荒川勘兵衛殿
林	良助殿	金壹百圓也	熊谷辰男殿
今村	重福殿	金壹百圓也	土肥 次郎殿
町井	克己殿	金壹百圓也	宮坂 英徳殿
助川	真男殿	金壹百圓也	佐野 正綱殿
相澤	煥殿	金壹百圓也	高橋 謙吾殿
陶山	俊次殿	金壹百圓也	宮崎勝太郎殿
井手	武雄殿	金壹百圓也	成田 倉吉殿
松岡	元典殿	金壹百圓也	板本 史郎殿
藤井隆太郎殿	金壹百圓也	松田 豐三殿	
石川	勝太郎殿	金壹百圓也	友田 巖殿
市川	牧之助殿	金壹百圓也	坂口 廣喜殿
尾形	健夫殿	金壹百圓也	小野秀太郎殿
秋山	忠次郎殿	金壹百圓也	川井誠次郎殿
羽山	勝六殿	金壹百圓也	下村 英一殿
加藤	章殿	金壹百圓也	桑原 繁次殿
玉井	俊夫殿	金壹百圓也	小林子の輔殿
江尻	登殿	金壹百圓也	柴田 守雄殿
藤田	博殿	金壹百圓也	西 謙治殿
村瀬	達四郎殿	金壹百圓也	田村 七郎殿
池田	義國殿	金壹百圓也	小澤 晋次殿
新	修吉殿	金壹百圓也	梅澤龜久夫殿
早川	武四郎殿	金壹百圓也	遠藤 三郎殿
佐藤	喜三殿	金壹百圓也	北村 淑人殿
土屋	文雄殿	金壹百圓也	村上金十郎殿
山	喜一殿	金壹百圓也	有馬 守仁殿
杉野	史郎殿	金壹百圓也	吉田謙之助殿
河村	猛殿	金壹百圓也	川合 一男殿
中居	二郎殿	金壹百圓也	西岡 俊雄殿
大西	新一郎殿	金壹百圓也	佐藤 繁次殿
河川	俊二殿	金壹百圓也	黒川 繁次殿
平井	龍喜殿	金壹百圓也	宮崎 正徳殿
河上	丈太郎殿	金壹百圓也	奥田 重徳殿
平島	正義殿	金壹百圓也	生駒 栄藏殿
豊田	博司殿	金壹百圓也	川田 新六殿
崔	成華殿	金壹百圓也	花澤 勇三殿
平井	義男殿	金壹百圓也	梅澤 徹郎殿
小松	文彦殿	金壹百圓也	林 晴秀殿
今井	清殿	金壹百圓也	渡邊 鼎三殿
菊地	全三郎殿	金壹百圓也	
神崎	静雄殿	金壹百圓也	
佐波	康彦殿	金壹百圓也	
宮本	正勝殿	金壹百圓也	
安藤	秀世殿	金壹百圓也	
佐藤	清殿	金壹百圓也	
中曾根	正三郎殿	金壹百圓也	
中川	武夫殿	金壹百圓也	
田中	不二男殿	金壹百圓也	
竹内	仙治郎殿	金壹百圓也	
保高	善光殿	金壹百圓也	
岩瀬	勝殿	金壹百圓也	
色田	義雄殿	金壹百圓也	
太田	順一郎殿	金壹百圓也	
井手	宗雄殿	金壹百圓也	
丹羽	正殿	金壹百圓也	
湖尾	宣雄殿	金壹百圓也	
松本	龜次郎殿	金壹百圓也	
竹下	喜市殿	金壹百圓也	

社告
本會事務局は夏期休業中、左記に依りて一切の通信は切止し、事務所に依頼致します。

暑中御見舞申上候

立教學院後援會
本會の事業も校友諸賢の熱烈なる御同情と、御後援とに依り着々進行致居候。午後略儀紙上、御禮申上候。

立教學院後援會

昭和四年八月十日
東京市原宿区本町三丁目六六號
電話 三三四
電報 東京六四八八

合計金壹萬九千九百九十九圓也
累計金九萬六千五百參拾四圓也 (八月十日現在)

荒川勘兵衛殿	金壹百圓也
熊谷辰男殿	金壹百圓也
土肥 次郎殿	金壹百圓也
宮坂 英徳殿	金壹百圓也
佐野 正綱殿	金壹百圓也
高橋 謙吾殿	金壹百圓也
宮崎勝太郎殿	金壹百圓也
成田 倉吉殿	金壹百圓也
板本 史郎殿	金壹百圓也
松田 豐三殿	金壹百圓也
友田 巖殿	金壹百圓也
坂口 廣喜殿	金壹百圓也
小野秀太郎殿	金壹百圓也
川井誠次郎殿	金壹百圓也
下村 英一殿	金壹百圓也
桑原 繁次殿	金壹百圓也
小林子の輔殿	金壹百圓也
柴田 守雄殿	金壹百圓也
西 謙治殿	金壹百圓也
田村 七郎殿	金壹百圓也
小澤 晋次殿	金壹百圓也
梅澤龜久夫殿	金壹百圓也
遠藤 三郎殿	金壹百圓也
北村 淑人殿	金壹百圓也
村上金十郎殿	金壹百圓也
有馬 守仁殿	金壹百圓也
吉田謙之助殿	金壹百圓也
川合 一男殿	金壹百圓也
西岡 俊雄殿	金壹百圓也
佐藤 繁次殿	金壹百圓也
黒川 繁次殿	金壹百圓也
宮崎 正徳殿	金壹百圓也
奥田 重徳殿	金壹百圓也
生駒 栄藏殿	金壹百圓也
川田 新六殿	金壹百圓也
花澤 勇三殿	金壹百圓也
梅澤 徹郎殿	金壹百圓也
林 晴秀殿	金壹百圓也
渡邊 鼎三殿	金壹百圓也

